

第 2 回審議会でのいただいたご意見

(1) 文化芸術をとおして目指す京丹後市の姿

- ① **温泉が湧くイメージ** ほどよい温度のお湯（文化）があちこちに湧く
人が集まりやすい
- ② **継続性** 子どもの頃の経験を次世代に継承する
- ③ **使われていない物を活かす** 施設や楽器など→ 発表・交流
- ④ **支え合う工夫** 地域の人に理解をいただく気運づくり
- ⑤ **多様性** いろいろな人が、いろいろな活動を
- ⑥ **お金** 活性化のアイテム、財政面
- ⑦ **市民が主体** 文化を楽しみ文化に癒される

(2) 京丹後市に足りないもの

- ① **芸術系の大学や学生との継続的なつながり**
- ② **施設** ライブハウスなど
- ③ **丹後弁を大事に** 方言も大切な文化のひとつ
- ④ **発信** 情報や魅力を発信→「お金」、SNS
- ⑤ **評価** 評価のしくみ

(3) 各アドバイザーからの助言

- ① 市民が満足して文化活動を行う**対内的な視点**と、文化を通して市外からの人の流れをつくっていく**対外的な視点**の両方が必要
- ② 文化活動を持続可能にするためには「**お金**」と「**発信**」が欠かせない
- ③ 大人から子どもへの**継承、世代を超えたコミュニケーション**
→ **文化をとおした地域の活性化**
- ④ 財政面の自立 ← 「**地産地育**」自己実現を自己満足で終わらせない
- ⑤ 伝統的な文化資源が古臭いイメージにとらわれないため触媒が必要
→ **現代アート**